

第12回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称	第12回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 教育活動・学校事務部会
開催日時	令和7年6月5日（木） 総会終了後から
開催場所	岩村コミュニティセンター 大ホール
報告	改築・新築工事の様子 各課題の今年度の検討計画
協議	課題番号16 教育課程、教育内容に関すること
その他	次回の教育活動・学校事務部会について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 平林 道博 大嶋 達也 夏目 裕行 加藤 淳 保母 輝幸 鈴木 真弓 安藤 耕介 片桐 宣伸 後藤 琢磨 深谷 友康 各務 美穂 加藤 哲也 松下 貴恵 梶屋 明広 細江 美和 鈴木 直樹 佐藤 美保 増田 尚子 教育委員会 郷田 賢 石原 聖子 小木曾 健太 水野 雄午 三宅 勝義
会議の内容	会議録のとおり

部会長 皆さんこんばんは。この部会の長をつとめます山岡中学校の後藤琢磨です。今回の議題も慎重に検討していただきますようよろしくお願いします。

副部会長 委員も変わった方もおりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。時間の都合もございますので、お名前のみで結構ですので、こちらから順番にお願いします。

(出席者が順番に自己紹介(役職・氏名を発言))

副部会長 それでは報告、協議事項について。まず初めに報告事項について、事務局お願いします。

事務局 よろしくお願いします。まず「①改築・新築工事の様子」についてです。こちらは、今回は時間も限られておりますので、口頭のみでの報告になります。増築工事、改築工事共に、順調に進み、新築校舎では大きな木の骨組みが立ちつつあります。改築工事では新しい理科室や相談室の工事が終わってきました。工事で山岡中学校の生徒には不便な思いもさせてしまっているのですが、先日は工事現場の見学会なども実施し、デメリットだけでなく、メリットになるような取組を考えて実施しているところです。なお、工事の様子につきましてはHPでも公開しておりますので、そちらでもご確認をお願いします。

事務局 続いて「②各課題の今年度の検討計画について」です。課題17「学校行事に関すること」につきましては、昨年度宿泊を伴う行事についてご審議いただき、行先や実施時期、日数等について部会案をまとめました。本年度ですが、秋ごろに学校説明会がありますので、ここまでに宿泊を伴う行事以外の大きな行事内容、実施時期について協議をいただきたいというようにしております。続いて課題18「生徒会に関すること」についてです。令和6年度は、生徒会交流の実施の様子や交流内容について報告いたしました。令和7年度についても同じように生徒会交流の様子を報告しながら、協議が必要な場合は皆さんにお諮りしたいと考えております。

次に、課題20「学校備品・教材備品の整理に関すること」についてです。こちらについては先ほど総会で承認いただいたとおりになりますが、不用となった備品の整理方法について部会案をまとめました。本年度はこちらについては協議していただく予定は無いかと考えます。

課題21「学校図書に関すること」についてです。図書館とメディアスペースの在り方について意見交換し、図書館司書さんに提案し、現在準備をすすめてもらっています。本年度は、最終的なレイアウトや備品配置案が決まった際に報告しながら、意見が反映されているかということを確認いただければと思っています。

つづきまして、課題22「保存文書等の整理に関すること」についてです。こちらも総会でお伝えしたとおりですが、恵那南中学校の展示ギャラリーに展示する記念品案について部会案をまとめました。本年度については、協議の予定はございませんが、もし追加で展示したいものが見つかった場合には協議をおこなえばと思っています。

最後になります。課題23「予算計画に関すること」についてです。令和6年

度に協議したことですが、現状の各学校の学校徴収金の取扱いや統合後の学校徴収金の徴収方法案のメリットやデメリットについて説明し、意見交流をいたしました。令和7年度には、秋に行う予定の学校説明会までに学校徴収金の徴収方法について協議していきたいと考えております。

今年度はこのような予定で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

副部会長 事務局からの報告について、何かご質問がありましたらお願ひします。

委員 去年と今年の予定があったんですけど、僕がきちんとやってほしいなと思うのは、2年前の最初の会で課題整理シートというのが出されて、これに沿って進めたいというふうにおっしゃったので、それをきちんと全ての人に配って、2年前ですか、3年間でどれだけのことをやるかということが、この課題整理シートという教育委員会のほうから出されたんだから、結構、これは細かく書いてあります。それを全ての人に知ってもらってやっていくことが大事じゃないかなと思います。

今の報告されたことは別に確かに間違っていないですけども、いろんなことが、例えば課題の18、生徒会に関することと言えば、生徒会交流会のことは報告されましたけど、課題整理シートを見ますと、実際には生徒会、委員会活動0、生徒会・委員長決定方法の決め出しに、ほかは報告をしてもらう。生徒会、委員会名をどうするか。活動の周知をどうするか決めてもらう。それから生徒会メンバーを新しい学校のときに副会長とかはどこの学校の子がやるとか、そういうことを決めておくとか、様々にここに書かれていない以外のことをやらなくてはならないんですけど、それが取り組まれていないと思うんですけどね。生徒会で言えば、もう全てのことは令和7年の9月には全部決定するというふうになっています。学校行事も令和7年度にいろいろと宿泊を伴う行事以外の体育大会とか合唱祭をどんなのにしたいかということを決めるというふうになっていますけど、課題シートで言えば、令和7年の3月にはもう決まっているというふうになっていますよね。すごく遅れているんですけどね。

ですから、ここに書かれていることは間違いではないけど、書いていないことでやらなくてはならないことがいっぱいあると思うんですよ。それをもう少し整理してもらって、新しく入ってきた方々の新鮮な目でもっていろいろと意見を言ってもらって、あと1年しかないんですけど、最後の土壇場で滑り込みセーフではなくて、しっかりと考えて、いいものは新しい中学校の生徒たちにプレゼントできたらいいなということのを思いましたので、いま一度、確かめてもらえないでしょうか。かなりここに書かれているものがほとんど書かれていないです。

今、やらなくてはならないことがたくさんあるので、意見ですけど、整理していただいて、今日もこれは協議の予定なし、協議の予定なしとなっていますけど、実際にはたくさんの方のことを協議するって、図書館なんかでもみんなでどんな図書館にしたいかってコンセプトを話し合っ、5人の方はあれでしょうけど、レイアウトなんかも自分たちでこの会で決める。蔵書数はどれだけの本

を残すか、みんなで決めたいというようなことをやったんですけど、今日聞くと、お任せ、お任せになっちゃって、時間がないのではないかなと思っただんですけど、一度、もう少しスタートの時点に立ち返ってもらって、あと1年を充実した会にしてもらいたいなと思いました。

事務局の方も5人見えますけど、当初から見える方は小木曾さんだけで1人ですよ。もう次から次が変わっていくから、本当に引き継ぎをそれぞれやっていると思うんですけど、これだけたくさんの方は、話し合うことがあると思う。落ちがあるというか。なので、いま一度、整理して次回から詰めていただけるとありがたいなと思います。

副部会長 ありがとうございます。そのほか、よろしいでしょうか。

では、協議事項のほうに行きたいと思います。事務局、お願いします。

事務局 ありがとうございます。

協議事項は、16番の教育課程等、教育内容に関することの恵那南中学校の日課についてです。

こちらについては、前回の3月の部会の際に一度、ご提案させていただいたんですけども、やはり部分部分ではなくて1日を通した日課をもって検討したいということと、あと、今の学校とか、よその学校等がどんな状況になっているのかというようなことが参考としてできるとよいという意見がありましたので、そういったことも踏まえて、今回、再提案させていただくところでございます。よろしく願いいたします。

7ページからになります。

まず、現在の状況ということで、統合する5校と統合した後に同程度の規模になると思われる恵那西中学校の日課のところについて、少しピックアップしながら見てみました。

朝の開始時刻ですとか、朝の活動をどんなことを何分間やっているのかというようなこと、また朝の会がどのぐらいの時間で行われているのかということや、昼休みが何分間取られているかというようなところでは、

また、掃除の取扱いはどのようになっているのかというようなことや、帰りの会の時間の持ち方、そして部活動等の時間、そして下校時刻というようなところについて少しまとめてまいりました。

こういったところで、前回、話題になっていたところの中で言いますと、掃除の時間につきましては、基本的には毎日の予定の中に位置づいているんですけども、部活動をやる日については、そのところをなしにして、できるだけ長い時間を取るといったようなことを実際にはしているという学校が多いというような話を聞きました。

また、朝の活動のところにつきましては、読書を中心に多くの学校が何らかのところに取り組んでいるというようなこと、また、朝の会や帰りの会はこの学校も行っているというところ、下校時刻につきましては、やはり、今、学校としては16時45分までには下校すると、そこまでに部活動も終わるといったようなことで時間のほうが設定されている現状があるというようなところにつ

いて見ていただけるかというふうに思います。こういった市内の各校の現状等があります。

こういったところを踏まえて、恵那南中学校の日課についてということで、8ページ以降のところから案のほうを出させていただきます。

まず、8ページのところは、日課表、夏案ですけれども、8時頃からバスのほうは到着してまいりますので、その後、8時にぴたっと全部のバスが来るということではなくて、若干のずれは当然出てまいりますので、ここのところ、8時を基準としながら準備タイムということで15分間の時間を設けて、授業準備ですとか読書、委員会活動、学級活動等をそのときの状況に合わせて多様に使える時間をここのところで15分持つということを考えております。

その分、大事な確認ですとか、大事な話を聞くだけというような朝の時間というところは本当に絞り込んで、そのときの状況に応じた朝の時間を過ごせるようにということで時間のほうを組んでおります。

1時間目、2時間目、3時間目、4時間目、これにつきましては50分間の中学校の標準時間というところで順に進めてまいります。

そして、給食の時間が12時20分から12時55分、そして昼休みが25分間、12時55分から1時20分までというところです。

そして、5時間目、6時間目とありまして、掃除の時間を取っております。10分間です。

そして、また帰りのところにも少し多様に使える準備タイムというところを設けて、帰りの会と合わせて15分間ぐらい使える予定のほうを組んでおります。

そして、部活動または委員会や特別活動ということで30分間の時間を取り、バスの出発が4時30分にはできるようにというような流れとしております。

これを火曜日から金曜日の基本としまして、現在もどこの学校も月曜日は5時間授業で子供たちが早く帰るというような日課になっておりますけれども、恵那南中学校になったときにも同様の日課としたいというふうに思っております。こちらが日課表の夏案です。

9ページです。9ページは日課表の冬案になります。

生徒玄関が開くところから準備タイム、そして朝の会、1、2、3、4時間目、こういったところについては夏と同じです。給食、そして昼休み、ここも同じです。

冬時間になったときには、掃除の時間を昼休みと入れ替わるというような形で少し予定を組んでおります。その代わり、多様に使える準備タイムと帰りの会、こういったところは残しながら、最終下校を3時40分というところで冬の日課としたいというふうに思っております。

月曜日は同様に4時間授業で過ごすということです。

冬になって、この3時40分に下校するために、委員会もしくは部活を入れるという場合には、5分短縮日課というようなものも取り入れながら時間を確保したいというふうに思っているのが日課表の冬です。

10ページにあるのが、日課表、冬の掃除ありバージョンということでありま

す。先ほどと比べて、昼休みのところをカットしているというところでは、最後、11ページのところが、日課表の冬の短縮バージョンということで、先ほどの部活動を冬時間で確保するときの日課表ということになりますけれども、このときは1時間を標準の50分ではなくて45分授業で進めるというような日課表です。

夏バージョンのところは1つですけれども、冬についてはちょっと幾つか、3つほどの日課表を組み合わせながら活動のほうをしたいというふうに思っております。

この案の中で大事にしているところとしましては、やはり子供たちが自分が今どんなことに取り組むのかとか、今どんなことをしたらいいのかとか、また動きの素早い子もあれば時間をかけて取り組む子もあります。そういった子供たちの状況に柔軟に対応できるというようなことや、学校は時期によっていろんな取組をするときもありますので、そういったところにも柔軟に対応できるということで、この準備タイムというようなところを朝と夕方に入れているところでは、こういったところを特徴としながら、この日課表を考えさせていただきました。

部会案については以上です。

副部会長 日課表について、今、提案がございましたが、ご意見等ございましたら、少し時間を取ったほうがいいですかね。さすがに。どうぞ。

委員 日課表の冬の短縮バージョンなんですけど、45分で夏バージョンと5分違うんですけど授業は大丈夫ですか。内容が遅れそうになるとか、どういう状況なのか分からないんですけど、5分短くなるということは授業内容的に変わるのか、変わらないのか、ふと思ひまして、どうなんですかね。

事務局 現在でも各学校で短縮日課の日というのはあるんですけども、そういったときには5分短縮で、50分のときと変わらないというか、大事なところは外さないようにして授業を展開するというようなことは今も取り組んでおります。これがそんなに年間の中でたくさんの日になるわけではなくて……。

委員 何月から何月までという大体の目安はありますか。案でいいですよ。大体で。

事務局 そうですね。12月から2月ぐらいが……。短縮、冬日課になるのはそのぐらいの時期で、そのときの短縮ということでは。

委員 頻度はどのぐらいになるのか。

事務局 短縮日課の頻度ですか。

委員 いや、時間だけ気になったので、大丈夫です。

委員 すみません。今の冬日課の時間ですけど、考えてみると、12月が冬至だけ、それから夕方は早くなるんです。けど2月になると、結構、1月よりも2月は日の入りが遅くなるんですよ。だからそこを考えると、ちょっと今の期間は適当じゃないかなって、11月の終わり頃は結構暗いもんでね。やっぱりそこらはもうちょっと検討したほうがいいのかと思うんです。日没、日の出、日の入りの時間等を勘案してと思います。

事務局 びたっとここからここまでとかっていうふうではなくて、そのときの日の状況

に合わせて冬日課が始まりますというようなことは、改めて保護者、生徒に周知をして始めるということになりますので、何月になったら急にころっということではなくてというふうな運用になると思います。

委員 それで、やっぱり統合のデメリットの部分の一番これが、私、上矢作ですけど、やっぱり上矢作の子は50分、今の通学時間よりかなり長くなりますので、そこらについてはやっぱり十分検討をしていただきたいなと、家に帰るまで本当に真っ暗で懐中電灯がないと家に帰られない子が何人も出ますので、そこらのところを十分考えていただきたいなと思います。

事務局 ありがとうございます。何とか明るいうちに家に着けるようにというのが、前にこちらの部会でも案が出ていたと思いますけれども、そういったところも含めてこちらのほうを考えております。

そう考えると、本当に遠い子たちが明るいうちに家に着ける時間で冬日課にするかどうかというのは決まってくると思いますので、一概に、ちょっとすみません、先ほど11月から2月と言っちゃったんですけども、そこは、今、言われたとおり、生徒が安全に帰れる時間になっているかどうかというところで運用されていきます。

委員 よろしくお願ひします。

委員 何回もすみません。部活なんですけど、今のこのぐらいが妥当だとして、それでちゃんと身につくとかとかいうか、ちょっと考え、それが普通なのか、私は山育ちではないので分からないんですけど、これはちょっと地域移行を兼ねている、それ以上にのめり込みたいとか、のめり込みたいスポーツがあれば、地域移行のどこかでやったほうがいいんですかね。

事務局 ちょっと部活動の中身については、こちらの部会で言い切れない、ほかのところで検討されていますので、いいかげんなことが言えないところはあるんですけども、ただ、今の部活動の時間だけで競技力を高めるというよりは、本当に競技力を高めたい子はそれ以外の地域のクラブみたいなのところに入ったりとかというふうにして高めながら、部活のところでは、本当に集団で取り組む心地よさであったりとかというふうなところはやっぱり大事にしていきたいというふうな、そういったところには取り組める時間になっているかなというふうな思います。

委員 ありがとうございます。

委員 すみません。ここの部会ではないと言われたんですけど、ここの部会が初めてなもので、今の部活に関してなんですけど、僕は恵那市のスポーツ連盟の理事のほうに入っていて、その理事会のほうで地域移行クラブのほうに全部移行が完了しましたという、この前、総会で報告があったんですけど、それなのに部活という名前では何かやられるんですか。その際に先生が関わりを。

そして、部活となると、今年はまだなんですけど、まだ名前が変わるか分からないけど中学体育総合大会があるんですけど、これにも出ることになるんですかね。そうなってくると、また学校のほうでユニフォームとか、そういったものを用意しなくてはいけなくなるのでとかという話もありますし、また中体連

に出るに当たって、今、クラブ活動と中学の部活のほうで選択して出るというふうになっているんですけど、出る基準に練習時間が制限されたりとかするんですけど全国大会まで行くんですよ、練習制限をされて全国に行くという何か矛盾したような感じがあるんですけど、なので、今、クラブ活動に全部移行されたというので、もう部活動自体の項目はなくてもいいんじゃないかと思うんですけど。

すみません。個人の意見なんですけど、結構、スポーツクラブに入った子供の親からすると、中途半端な部活動でけがをしてほしくないんです。自分家のことで申し訳ないですけど、結構な大会で全国まで行く子がいて、部活動という中途半端な活動でけがをしてほしくないんです。なので、そこら辺も含めてちょっと部活動というのはやっぱり、ここの部会じゃないかもしれないんですけど考え直したほうがいいかなど。部活動は強制関与になるんですかね。

事務局 ちよつとここは、僕がそれについて責任を持って回答ができるところではないので申し訳ないんですけども、これまでのこちらの準備委員会の流れの中で、やはり部活動については大事にしてほしいという意見を受けて、恵那南中学校になったときでも、遠くまでバスで帰るといふ子がいるんだけど、できるだけ部活ができる学校であつてほしいという願いを受けて日課のほうも考えてきております。

そういった中で、今、いろいろと競技のこととか、種目のこととかということもありますので、そういったところについては配慮できるような種目であつたりですとか、例えばクラブでこちらの種目に入っているんだけど、部活も全く同じ種目ではなくて、部活の時間はそれ以外の何か興味あることを体験するような時間にするというふうなことも含めて検討のほうはされておると思ひますけれども、ちよつとその中身までは、今、私が全てお伝えすることはできないんですけども、1つのポイントとしては、バスで帰りますので、部活に入っていない子だけ早く帰るといふようなことは難しいです。そういった子たちについては一緒に帰れるように何らかの形で学校にはいていただいて過ごすといふようなことになると思ひます。

委員 それで違ふ部会の人たちから、上矢作は情報交換をしているので、そこら辺の話は聞いているんですけど、ただ、まだそこまで部活は強制的なのか、そうじゃないのか、やらない子はどこか図書館なりで自習学習をすることができるのかといふのもまだ未定らしいので、全員が全員、部活に入るわけではないと思ひ、強制的といふのはよくないと思ひるのでといふことです。

副部会長 ありがとうございます。

そのほか、ご意見、ご質問等ありましたら。

委員 すみません。学習のことですけど、この前、明智では新研究といふ勉強するカリキュラムといふか、冊子があつたんですけど、今年からは採用しない、来年から採用しないのかな、各学校で違ふんでといふところで、家で自学するとか勉強するのに、その新研究の勉強資材を使つていたんですけど、新しい学校になつてからいふ勉強する資料といふんですかね、いふのが新しく設定

されるんですかね。

事務局 それは、今ここでということではないですけども、もちろん、恵那南中になつたから勉強しないとかということではないですし……。

委員 勉強しないというわけではなくて、勉強するためのツールというものが新しく子供たちに何か提供されるのか。もうそこは自分たちの家での勉強なんで各自頑張ってくれという話なのか。どういうことなのかなというふうに。

委員 話をしてもいいですか。

事務局 お願いします。

委員 岩邑中学校も2年前まで新研究は全員購入だったんですけども、例えば兄弟関係でほぼ同じような本を既に持っている子たちとかもいて、なかなかフルに活用されることもない、学校の中で授業で扱うことはありませんので、本校は全員が買うことは廃止をしました。

何をしているかという、紹介はさせていただくので、必要な教科を例えば購入する子もいれば、全部購入する子もいれば、兄弟のものがあるから要らないとか、自分で自分に合ったものを買いたいから買わないというような選択ができる形で2年間提供しています。なので、今、買う子もいるんですけど、買わない子もかなりいるような状況です。

委員 なので、明智も今回からは紹介はするけど、買うか買わないかは各保護者に任せますという話ですけど、それは、今、明智中学校としての活動なので、恵那南となったときにどういう活動をされるんですかという質問ですね。

事務局 そこは開校されたときに、学校のほうで子供たちの状況も踏まえながら適切な学習の仕方みたいなどころというのは検討していくと思いますし、全く何も紹介されないということはないんですけども、ただ、何をどのような形で紹介するのかというところまで、今、ちょっと自分は答えられないんですけども、それがいいということはありませんので、何らかの形のものが提供されていくことになります。

委員 それをなるべく早めにアナウンスをしてもらえると、3年生に入っちゃってからどうしますかというよりも、もう入る前、今の現2年生とかは、もう既に今の時点からアナウンスされておかないと、3年生になったときにどうするとなっちゃうんでは困ると思うんですよね。なので、そこら辺も早めにアナウンスをするように動いていっていただきたいと思います。

事務局 ありがとうございます。新研究の取扱い、今、新研究が出ましたので……。

委員 新研究に限って言っているわけではなくて、新研究をやれと言っているわけではないので、何かしら子供たちに学習をする機会、ツールを与えてもらえるような働きかけ、やるかやらないかは子供たち個人であったり、各家庭の事情であったりというものもあると思うので、そこは自由でいいと思いますけど、選択肢がなくなるのは困るということです。

事務局 ありがとうございます。今もう既に1年生等につきましては、授業の中で使っている教材についても、一緒になったときに、あそこの学校はあるけどここの学校はないというようなことがないよというので、今、5校の先生方、

いろいろとそろえていただいて準備していただいておりますので、今、今年の2年生につきましては、例えば3年生になるときにどういったものを持ち寄る形にするかとか、それを何月頃の段階で紹介をするのかということについても、当然、連絡は取り合っておりますので、そういったことがないように進めたいと思います。

副部会長 よろしいでしょうか。そのほか、どうですか。

委員 今、部活のことだとか、あるいは新研究のことだとか、いろいろと出ていたんですけど、結局、日課というのは、子供たちの生活を時間軸で見たことですから、結局、全生活が網羅されてくると思うんですよね。

2点、お願いしたいんですけど、まず1つ目にお聞きしたいことは、この日課表というのは5校の校長さんたちが承認してつくられたものですか。事務局が勝手につくったものですか。

事務局 相談をさせていただきながら……。

委員 校長さんはこれで納得しているということですね。

事務局 はい。

委員 分かりました。では、お聞きしたいんですけど、5校の日課が7ページに書いてあって、それから8ページには新しく恵那南中学校の日課表が載っているんですけど、5校の日課表がこれで、恵那南中学校の日課表がこれでというのはやっぱり不親切と言いますか、さっき話の途中で、大事にしていることはということだとかという話があったんですけど、どういう理由でこういう日課にしたかということをきちんと文章にまとめてほしいです。

事務局がこれを勝手に言っているけど、みんなに聞いてきているんだよね。例えば朝の会で見ますと、5校を見ると、7ページにあるんですけど、10分間とかやって、明智なんか15分かけて1日の目当てを決めたり、自分の頑張りをやっているんですよね。

恵那南中学校の日課表は、5校の中でよいところをさらに伸ばすような日課表にしたいという願いでつくっていくということだったんですけど、右の8ページを見ると、朝の会は5分でいいと書いてあるよね。大事な確認、大事な話と言うんですけど、今まで5校のうちどこもやっていないのに5分にしちゃうのは、全然理由が分からないんですよね。

ですから、では、この8ページの日課表にはどういう願いや考え方を持ってつくったかということを書いた文章を書いてもらわないと、結局、いろいろと話し合うけど、残ったのはこの8ページの日課表が承認されましたって言って終わっちゃうんでね。いろいろとみんな意見を言っているけど。

特に掃除なんかでもみんな工夫して、何を削るかっていったら、授業は60分、50分というのは法律で決まっているので削れないよね。ですから掃除なんかで工夫して、今の5校のやり方を見ると、15分だけでも1日置きで火、木でやろうとか、部活の日はなしにしてやろうとかでやっているんだけど、恵那南中学校の掃除を見ると、10分で毎日やるという方式だよね。

新しい学校だし、そんなに毎日やる必要なんてないと思う。なるべく汚さない

ような生活をするように子供たちを指導して、日直当番が掃き掃除だけやるとかというふうに工夫してやればいいと思うんだけど、5校のことを並べた割に5校の中で優れた実践といいますか、いいのが恵那南中学校のほうに引き継がれていないということを思いました。ですから、校長さんたちがこんなのを認めているとは、どういう校長さんかなということを思ったんですけど。

それから、準備タイムが特に目玉だって言われましたよね。でも準備タイムって、8時に門が、生徒玄関が開いて、それから授業準備をやったり読書をしたり、委員会活動をしたり、学級活動をしたりって、それから朝の会が15分から始まるんですよ。遅刻って何時になりますかね。8時の準備タイムに遅れたら遅刻ですかね。基本的に日課に入っているから。

事務局 バスの到着時間が違うので……。

委員 では、バス到着なんてことを書かないほうがいいんじゃないのか。

事務局 最初のバスはこの辺りから到着してくるんですけども……。

委員 準備タイムの時間に、8時にバスが到着しきっていないんだ。

事務局 この辺りで少し時間差をつけながらというような……。

委員 では、基本的に子供たちは8時15分までに教室に入って着席すればいいと、そこから日課が始まるんだよね。だったら準備タイムなんて日課に入れるのはおかしいんじゃないかと思う。読書とか入れてあるけど、前の5校ではみんな朝読書に力を入れて、朝の活動で読書活動をきちんとやっているよね。10分間だけでも。すごく朝読というのは効果があると言われていたから、南中学校でも引き継いでほしいなと思うけど、今の話では、この準備タイムに読書って書いてあるけど、結局、やる子とやらない子がおるってということだな。今の話でいくと。

委員 バスが遅い子は来たらすぐ朝の会ってということですよ。

委員 では、準備タイムって日課じゃないよね。基本的に。自由時間で。やってもやらなくてもいいってことでしょう。

委員 いいですか。詳しく分かってないんですけど、バス到着は8時にはもう着いているのが、一応、予定という感じじゃないんですか。

事務局 さっきの説明でもあったように、全部のバスがこの時間にどっと着くということではなくて、時間差があってというところが……。

委員 もうちょっと早くから入っていて、大体8時には最終の子が入ってくるという想定じゃないんですかというようなイメージを僕は、逆にゆとりがあって、8時には最終便のやつが入ってきて、準備タイムから始まってというようなイメージを持ったので、8時からどんどん入ってくるというのではないような気がしたんですけど、どうだったかな。

事務局 8時5分ぐらいまではおそらく全てのバスが着く、それは10分間ぐらいの幅があるんじゃないかという想定というか、予想なんですけれども……。

委員 8時に最終のやつが来るというような想定ではないのか。

事務局 そうです。少し遅れる。遅くするバスも必要なんじゃないかというような見通しですので、そうするとバス到着が例えば今のお話でいうと8時5分というふ

うになっていて、5分からのところが席にいるかというようなことを考えることは可能かもしれません。

委員 これは夏と冬でバスの運行状況、さっき総会でも言われたんですけど、冬なら遅れるじゃないですか。雪道はゆっくり走っていくはずなので、そう考えると、これは書くのをやめたほうがよくないですか。時間がちゃんと分からないじゃないですか。ここでこれだけ意見が上がるということは、多分、ほかのところへ出したらもっと出ると思うので、きっちりこうやって書かないようにしたほうがいいかなと思うんですけど。

事務局 バス到着の部分ですか。

委員 もう到着が分かっている時点で書かないほうがいいと思います。

委員 朝、雪で8時15分までにバスが到着しなかった場合の生徒の扱いはどうなるんですか。

事務局 それは状況等にもよりますけれども、今でもいろんな気象状況とかで学校に来れないというようなときはありますけれども、そういったときは授業を進めずに到着するまで待つというふうにしていますし、それで欠席とかというふうには当然ならない。

委員 そもそも遅れるかもしれない状況がある中で準備タイムを決めないほうがいいかなと思います。夏と冬とで絶対この時間がずれるので、ここは多分、またよそのところに持っていっても言われると思います。

委員 今の方の意見に賛成で、私が見てきた日課表は朝の会から始まっています。朝の会の8時15分に遅れたら遅刻、通信表に遅刻と書かれるのね。8時15分に教室で着席している。そこからスタートが始まるんよね。こんな生徒玄関開門とかバス到着なんていうのが日課表にあるのは初めて見たんですけど、やっぱり要らないこととかいうか、朝、大事な確認、大事な話なんてことも書いてあるし、日課表をつくるんだから、きちんとした新しい恵那南中学校に貼り出す日課表をここの責任でつくってくださいと言っている。

これは、さっきの課題シートで言えば、1日の日課表の策定は令和7年3月までに終わると書いてあるんですよ。もう本当なら決まっていなくてはいけないのに、こんな時間でやっているんだけど、さっき言ったように、それぞれどういう願いで新しい恵那南中学校の日課をつくったかと、さっき他の委員さんが言われましたけど、やっぱり日課で子供たちに集中とゆとりをどれだけ作り出すかということが学力とか生活の充実につながると思うんですよ。メリハリをつけた生活ということが。だらだらやらないで時間で切って。

ですから、日課というのはとても大事で、やっぱり子供たちは睡眠時間が減ると思いますよね。今よりは朝早く起きなければならないので。近くなる子もいるかもしれませんが。ですから、そうするとやっぱり休み時間なんかをたっぷり取って、ゆとりと言いますかね、本当に中学校って忙しくて、昼休みなんかには生徒会活動をやるとか、学級活動をやるとか、個人でやっている時間がないんじゃないですかね。

長々しゃべってすみません。恵那南中学校の日課表をこういう考え方で作り

ましたよ。朝の会についてはたっぷりと、1日、子供たちが探究的な生活ができるように、探究的な学習ができるように十分取りましたよとか、そういう考え方を載せてもらわないと、これ一枚出されても、いろいろと言うことがいっぱいあってあれですので、部活動についてはこうやって考えましたって書いていただければいいんじゃないですかね。バスの到着については、現在、こう見込まれているのでと、何か提案理由がほしいです。

事務局 分かりました。本当に再々提案になってしまっただけで申し訳ないんですけども、今、頂いたような、なぜこのようにしているのかというようなところの提案理由を文書にするというようなところと、中身について少し分かりやすくと思って書き足してあるところがあるんですけども、そういったところを削除した、本当に学校に貼ってあるような日課表といったところにして出させていただくというところで、もう一度、持ち帰らせていただくということで。

本当にさっき言われたとおり、予定からは大分遅れてしまうんですけども、次回は7月を予定しておりますけれども、そのときに再度ご検討いただくということではよろしいでしょうか。

部会長 校長会を代表してお話をさせていただきます。このような日課にした理由は大変大きな理由があります。それは、お話ししようとすると本当に20分や30分ではとても収まり切れないぐらいの思いがあります。なので、次回、事務局がそうやって言われていることなので、それに乗りたくと思います。

ただ、今、やっているこの5校の日課、これは非常に大きな欠点があると考えてこのように改良しました。一番大きな欠点は、大変、不登校が多いんです。不登校というのは、誰かにいじめられるとか、嫌な出来事があったから休むのではなく、何もないのにどんどん休んでいってしまいます。どんどん病気になる、どんどん学校から遠ざかっていく、その状況がこの日課の中にあると考えてこのように変えました。

一度、持ち帰って、きちんと文書にしてということなので、文書にしたときに説明ができるようにというふうに考えています。

以上です。

委員 日課表の作成権限は学校長にあると思うんですね。新しい学校のね。ですから、私たち素人と言いますか、保護者とか、私たち地域の者は、私なんかは、前回、下校時間が4時半だと知らなくて、5時とばかり思っていたんですけど、知らないの、そういう素人にも分かるように日課のことを説明していただけると、20分、30分は要らないので、そこまで聞くのは嫌なので3分か5分でできるようにして、こういう理由ですと言われれば、学校の先生方が決められたことについては、それでいいなということは思っています。

ただ、納得といいですかね、どうしてそういう日課になったかということについては僕も知っておきたいなど、総会とかにここの部会のが行くわけですよ。ですから、私たちも、一応、教育部会の委員として責任を持って自分たちの考えを言えないといけないので、分かるように、分かりやすくお願いします。

部会長 ちゃんと説明できるように、事務局さん、お願いします。

- 事務局 こちらでまとめさせていただきます。
- 委員 今、お話があったときに、不登校が多いからこれになったという話なんですけど、不登校にもいろいろあって、朝、行ってきましたと言って、ここにはいないんですけど、ちょっと上矢作のPTAの会議の中で話があったんですけど、行ってきましたと言ってバスに乗らなかったと、それで帰ってきていると、バスの運転手にそこまで確認するだけの義務はないので、そのときが一番怖いかと思うんですけど、朝の会の大事な確認というのは、多分、生徒が学校に来ているかどうかだと思うんですけど、バスに乗る、乗らないの確認する何かアプリみたいなのは、もうやらないというふうに聞いているんですけど、今できているのであれば、もうそれ以上につき足してバスに乗りました、降りましたというのはやらないというふうに聞いているんですね。
- 委員 なので、そうであるのなら、ちょっとそこも考えてほしいかなと、不登校という話が出たので、行ってきましたと言うのは言うけど、乗らずに帰ってきたというのがあるんですよ。今だったら歩いて行ける距離だから別に勝手に帰ってきてみたいなことですけど、バスに乗っていないパターンというのもあると思うので、ちょっとそこも1回考えてほしいです。
- 委員 先ほどの話であって、やっぱり不登校ということで、バスに乗った時点で出席というか、そういうアプリが世の中にはあるとは聞いている。私もちょっと確認していないんですけど、乗ったよという実証というか、そういうのがあれば親としてもすごく安心するというか、これに乗っていないよってなると、どこに行っとなねんって怒る、出るかもしれない。どこに行っていたのと、中学校は多感な時期で扱いもややこしくなるという世代、自分もそういうふうな体験をしてきましたから、そういうことで、バスで確認し、学校で朝の会で確認し、それでオーケー、二度チェックみたいな感じで、スグールかアプリかで親に分かるようにしていただけたらうれしいかなと思います。
- 副部会長 ○○先生、どうですか。
- 委員 何か現在の日課と不登校とを短絡的に結びつけるのはおかしいんじゃないかなと思うんですけど、ほかに論争してもしかたなただけど、特に○○校長は○○中の校長だから、そんなこと思っているんなら、この日課を変えられる権限を自分で持っているでしょう。自分の好きなように○○中の日課をつくれればいいんじゃないのか。これは○○校長が決めているんでしょう。不登校の原因はこの日課にありますなんて、人ごとみたいに言っていたら駄目じゃないのか。なんでそれなら不登校にならないような日課をつくらないの、校長として。
- 部会長 だから30分ぐらいの話がかかりますということですね。
- 事務局 今、頂いたバスに乗っていないパターンの検討と、この辺のことについては、ちょっと日課とはまた切り離れた課題ということでさせていただきます。
- 委員 また、日課等につきましては、いろんな思いを込めながらまとめておりますけれども、伝わるような形でいうことで、まとめ直させていただきますのでよろしくお願いたします。
- 副部会長 そのほか、日課についてはよろしいでしょうか。次回に再々提案ということで

お願いしたいと思います。  
そのほか、何かございましたら。

委員 これです、最後、まとめ……。

副部会長 まとめさせていただきます。

委員 そしたら、次回、やられる際に、今回上がった課題事項をちゃんと議事としてこの資料に書いておいてください。前回、何を指摘して、それがちゃんと答えをもらえているかどうか過去の資料を見ても分からないです。結局、何が持ち越されてきていて、決まらないままやむやになっていっちゃうかも分からないし、課題リストみたいなものがあるとされていたから、それを毎回更新して、確実に課題の消し込みを終わらせないと、なし崩し的に来年になったんで統合始まりますってなるのはよくないと思うんで、我々としても前回の指摘事項が解決されてきたことを確実に次回確認していきたい。僕らの記憶も曖昧だから、前回、何言ったかって忘れちゃうわけですね。なので、そういうのは確実に、前回指摘事項はこれで、それについてまず回答します。今回の議題はこれですというふうにしていかないと一生終わらないと思います。

副部会長 それではよろしいでしょうか。

委員 はい。

副部会長 では、報告、協議事項については、これで閉じさせていただきます。

続いて、次回の部会について、事務局のほうからお願いします。

事務局 説明します。次回ですけれども、7月末頃に、今、頂いた日課のことについての再提案と、あと課題17の学校行事に関する事、課題23の予算計画に関する事という辺りを議題として進めたいなというふうに思っております。

また、その際に最初に頂いた整理シートの中身といったところについても、もう一度、確認させていただきながら、その中の今日はここをというようなところを少し明確にできるようにということを思っております。

また、今回の議事録等も踏まえながら、回答のほうも最初のところでお伝えするというようなことも入れさせていただければと思います。ありがとうございます。

地区としては、地区をいろいろと回っていかうと思っておりますけれども、最後は山岡地区がいいかなというふうに思っております。校舎が出来た頃にそういったところを見ていただくということも兼ねて山岡地区でいいかなと思っておりますので、7月については明智地区で進めたいなと思っております。

副部会長 また正式には連絡がありますので、次回は7月末ということですのでよろしくお願いしたいと思います。

では、これで第12回の部会のほうを閉じさせていただきます。ご苦労さまでした。